

# 1 結核対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき健康診断を実施し、患者の早期発見・発症予防に努めるとともに、発見された患者については早期治癒にむけての生活指導等を実施しました。

## (1) 結核登録状況

### ア 新登録患者数：(年次推移)

(各年累計)

年	区分	新登録患者数			罹患率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H27年		18,280	1,311	79	14.4	14.4	11.0
H28年		17,625	1,192	57	13.9	13.0	7.90
H29年		16,789	1,143	70	13.2	12.5	9.75
H30年		15,590	1,024	60	12.3	11.2	8.35
R1年		14,460	987	57	11.5	10.7	7.89

令和元年は概数

### イ 全登録者数：(年次推移)

(各年12月31日現在)

年	区分	全登録者数			登録率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H27年		44,888	3,426	224	35.3	37.5	31.1
H28年		42,299	3,213	196	33.3	35.1	27.2
H29年		39,664	3,028	190	31.3	33.1	26.5
H30年		37,134	2,774	140	29.4	30.3	19.4
R1年		34,540	2,546	143	27.4	27.7	19.78

令和元年は概数

### ウ 活動性全結核登録者数：(年次推移)

(各年12月31日現在)

年	区分	活動性全結核登録者数			有病率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H27年		12,534	922	47	9.86	10.1	6.5
H28年		11,717	785	34	9.23	8.58	4.71
H29年		11,097	734	48	6.74	7.50	6.69
H30年		10,448	690	36	8.26	7.52	4.98
R1年		9,693	637	40	7.68	6.92	5.53

令和元年は概数

工 活動性分類別・新登録患者数

(各年累計)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結核 活動性		
		総 数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
H27年	79	67	25	24	18	12	33	
H28年	57	48	23	20	5	9	37	
H29年	70	59	28	24	7	11	31	
H30年	60	49	26	21	2	11	19	
R1年	57	42	23	16	3	15	23	
(再掲) 内訳	20歳未満	0	0	0	0	0	0	1
	20～29歳	3	3	1	2	0	0	3
	30～39歳	3	2	2	0	0	1	2
	40～49歳	3	2	1	0	1	1	8
	50～59歳	6	5	2	3	0	1	3
	60～69歳	6	5	2	3	0	1	0
	70歳～	36	25	15	8	2	11	6

才 活動性分類別・年齢階級別年末現在登録者数

(令和元年12月31日現在)

年齢階級別	年 末 現 在 登 録 者 数									潜在性 結核 感染症 (別掲)
	総 数	活 動 性 結 核						不活動 性結核	活動性 不明	
		総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結 核活動 性			
総 数	総 数	総 数	登録時 喀痰塗 抹陽性	その他 の結核 菌陽性	菌陰性 ・ その他					
総 数	143	40	29	14	11	4	11	45	58	44
(再掲) 内訳	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	20～29歳	10	1	1	1	0	0	4	5	8
	30～39歳	11	2	1	1	0	0	1	5	4
	40～49歳	15	1	0	0	0	0	1	5	9
	50～59歳	18	5	5	1	4	0	0	4	9
	60～69歳	24	3	3	2	0	1	0	11	10
	70歳～	65	28	19	9	7	3	9	16	21

## (2) 定期健康診断

感染症法に基づき、結核患者の早期発見のため、胸部エックス線検査を受ける機会のない65歳以上の人を対象に市民結核健康診断を実施しました。

年度	胸部エックス線検査受検者数
H27年度	1,895
H28年度	1,746
H29年度	1,704
H30年度	1,694
R1年	1,564

## (3) 接触者健康診断

感染症法に基づき結核患者の家族や接触者に胸部エックス線検査やIGRA検査等を実施し、感染者の発見と発病予防、発病者の早期発見及び感染源の把握に努めました。

また、事業所や施設等において結核患者が発生した場合には、状況を調査し、接触者に対する健康診断の実施結果報告を求めました（令和元年度は、7か所（病院2か所、福祉施設4か所、事業所等1か所）を対象に訪問調査を実施）。

受診者数	健診内容（延）				健診結果			医療機関紹介の受診結果				
	胸部エックス線検査	パルクリン反応検査	喀痰検査	IGRA検査	異常なし	医療機関紹介	要観察	結核治療開始	LTBI治療開始	IGRA陽性要観察	その他	未受診
204	53	5	0	186	188	16	0	0	8	8	0	0

## (4) 結核患者管理指導

結核患者の早期治療に向けて、各種情報を集約し病状把握に努めるとともに、療養上の支援を行いました。

### ア 管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき精密検診を実施し、病状経過の把握に努めました。

受診者数	検診内容（延）		検診結果		
	胸部エックス線検査	喀痰検査	異常なし	医療機関紹介	要観察
37	37	8	37	0	0

#### イ 結核定期病状調査

結核登録者のうち、病状把握の困難な者については、医療機関等から報告を受け、病状等を把握し、訪問指導等の結核対策の迅速化・円滑化を図り、結核の再発や二次感染の防止に努めました。

報告件数 65 件

#### ウ 結核患者保健指導

入院・通院治療をしている結核登録者に対し、面接または訪問を行い患者本人の治療に向けた服薬指導を行いました。また、本人・家族等から正確な情報収集を行い、適切な対象に健診が実施できるよう努めました。

指導内訳（延人数）			
訪問	電話	面接	文書
115	1,230	92	1,605

### （５）結核患者の服薬支援（地域DOTS事業）

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に結核患者の服薬支援を行いました。

#### ア 訪問服薬支援員制度・薬局DOTS制度

訪問服薬支援員制度として、市に登録している看護師等が結核患者の自宅を訪問し、服薬確認を行いました。薬局DOTS制度については、市に登録している薬局に結核患者が通い、薬剤師が服薬確認を行います。

訪問服薬支援員制度及び薬局DOTS制度による支援患者数	
訪問服薬支援員制度	薬局DOTS制度
2人（延べ 2回）	0人

#### イ DOTSカンファレンス

結核患者の服薬支援計画についての評価・検討を定期的（1回/月）に実施することにより、より良い服薬支援につなげ、治療完了率の向上を図ることに努めました。

カンファレンス件数 延べ131件（10回/年）

新型コロナウイルス感染症対応のため、2月、3月は中止

DOTSカンファレンスの内訳（件）			
登録・退院後1ヵ月	登録後4ヵ月	LTBI登録後1ヵ月	LTBI登録後4ヵ月
57	42	13	19

#### ウ コホート検討会

結核患者の治療成績を分析するとともに、患者支援の評価・見直しを行い、地域DOTS体制の推進を図ることを目的として、喀痰塗抹陽性患者を対象に年2回検討会を開催し、結果については関係機関に還元しました。

コホート検討会の内訳（件）			
コホート検討	死亡事例	失敗事例	脱落事例
41	7	0	1

エ 結核対策評価会議 新型コロナウイルス感染症対応のため令和元年度は中止  
結核患者の治療成績の分析及び支援方法の評価を踏まえ、事業全体の評価と見直しを行い、地域の結核対策全般に関する課題検討を行います。

（６）感染症診査協議会（結核診査部会）

感染症法に基づき、委員 8 名で構成し、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議しました。

公費負担については、一般結核患者（37 条の 2）は厚生労働省令で定める医療に要した費用の 95%を、入院患者（37 条）については医療費の全額を負担しました。

医療費負担区分別公費負担申請件数（感染症法第 37 条の 2）

（各年累計）

区分 年	種別	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢 者医療	生活保護法	その他
			本人	家族				
H27 年	申請	157	38	5	60	43	10	1
	承認	156	38	5	59	43	10	1
H28 年	申請	147	40	3	51	40	11	2
	承認	146	40	3	50	40	11	2
H29 年	申請	137	53	9	43	19	12	1
	承認	136	53	9	42	19	12	1
H30 年	申請	101	31	1	27	34	7	1
	承認	101	31	1	27	34	7	1
R1 年	申請	120	35	3	29	48	5	0
	承認	120	35	3	29	48	5	0

当該年中に合否の決定がなされたものを計上

感染症法に基づく入院勧告による入院患者数及び公費負担申請（感染症法第 37 条）件数

年	区分	入院患者数		公費負担申請件数 (各年累計)
		(各年累計)	(各年末現在)	
H27 年		26	6	90
H28 年		25	4	67
H29 年		31	5	98
H30 年		25	6	77
R 1 年		25	2	67

当該年中に入院勧告を行った又は公費負担申請のあったものを計上  
33 日を超える入院が必要な場合は、感染症診査協議会で予め最大 30 日間の入院期間延長の決定  
をした上で、公費負担の継続申請の手続きが必要となる。

( 7 ) 結核予防啓発事業

結核に対する正しい知識の普及を図り、結核のまん延を未然に防止するため、各種予防啓  
発事業を実施しました。

ア 結核予防週間

毎年 9 月の最終週が厚生労働省により結核予防週間に定められ、市ホームページへの記  
事掲載、職域保健との連携、ポスターの配布等を通じて、啓発事業を行いました。

イ 複十字シール運動

財団法人結核予防会が主催している複十字シール運動に協力し、パンフレットの配布及  
び募金活動を行いました。

ウ 研修会

社会福祉施設向け研修会

市内の福祉施設等の職員を対象に、結核に対する正しい知識の普及啓発を図るため、研  
修会を実施しました。

実施日 令和元年 7 月 22 日(月)  
会場 ウェルネスさがみはら 3 階 集団指導室  
内容 地域で結核患者がよりよく治療継続できるために  
講師 独立行政法人国立病院機構 神奈川病院  
医療ソーシャルワーカー 水野 茂樹 氏  
参加者数 42 人

医療従事者研修会

結核の現状、課題及び治療の知識等を深めることにより、市内の結核医療に従事する医  
療機関、施設等の関係者を対象に研修会を実施しました。

実施日 令和元年10月8日(火)  
 会場 ウェルネスさがみはら7階 視聴覚室  
 テーマ 「潜在性結核感染症と最近の結核治療について」  
 講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所  
 医師 平尾 晋 氏  
 参加者数 53人

エ 外国人無料なんでも相談会

さがみはら国際交流ラウンジ運営機構主催の外国人無料なんでも相談会(無料結核検診)にて神奈川県結核予防会と連携し健康相談等を行いました。

2 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生時には、その類型に応じ、患者等の人権の保護に配慮し、積極的疫学調査、健康診断、その他必要な措置の迅速な対応に努めました。また、感染症発生の状況及び原因の調査を行い、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るとともに、感染症対策の効果的な実施を図るため、感染症発生動向調査を実施しました。

(1) 感染症発生届出状況 (年次推移) (各年累計)(令和元年は暫定数)(件数)

年	区分	計	二類(結核除く)					三類				
			急性灰白髄炎	ジフテリア	呼吸器症候群	重症急性性	(H5N1) 鳥インフルエンザ	(H7N9) 鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
H27年	全県	250	0	0	0	0	0	1	14	2	1	222
	市	10	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6
H28年	全県	283	0	0	0	0	0	2	8	3	0	270
	市	18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17
H29年	全県	289	0	0	0	0	0	0	17	3	2	267
	市	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
H30年	全県	317	0	0	0	0	0	0	15	2	0	300
	市	10	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8
R1年	全県	201	0	0	0	0	0	1	3	6	2	189
	市	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11

令和元年に相模原市保健所への四類感染症の届出は、E型肝炎3件、A型肝炎3件、 Dengue熱5件、つつがむし病1件、レジオネラ症13件、マラリア1件の合計26件でした。

五類感染症(全数把握対象)は、アメーバ赤痢7件、ウイルス性肝炎1件、カルバペネム

耐性腸内細菌感染症 21 件、急性脳炎 6 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 件、後天性免疫不全症候群 6 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 件、侵襲性肺炎球菌感染症 10 件、梅毒 14 件、百日咳 27 件、風しん 16 件、麻しん 4 件、水痘（入院例）4 件、播種性クリプトコックス症 1 件の合計 121 件でした。

## （ 2 ） 感染症診査協議会（ 感染症診査部会 ）

感染症診査協議会では、感染症患者に対する入院勧告及び入院期間の延長、就業制限に関する必要事項を審議しました。

開催回数 13 回

## （ 3 ） 感染症患者等保健指導

本人・家族・社会福祉施設等から正確な情報収集を行い、感染症の予防やまん延防止に努めました。

指導内訳（ 延人数 ）			
訪問（ 調査 ）	電話	面接	文書
34	2024	39	610

## （ 4 ） 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況

（ 令和元年 9 月 2 日～令和 2 年 4 月 5 日累計 ）

施設	保育園・幼稚園	小学校	中学校	その他の学校	計
施設閉鎖数	0	1	0	0	1
学年閉鎖数	0	8	3	0	11
学級閉鎖数	9	223	49	5	286

・県の「インフルエンザ防疫対策実施要領」に基づき、令和元年 11 月 11 日に、市内におけるインフルエンザ事例の初発校において調査を実施しました。

調査結果：小学生児童 4 名のうがい液を採取し検査を実施した結果、3 名からインフルエンザウイルス A 型（H1pdm09）の遺伝子を検出しました。

## （ 5 ） 感染症予防啓発事業

感染症の予防やまん延防止等を目的として、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ・健康教育：8 回（ 集団感染発生時の感染症対策等 ） 参加者 748 人
- ・感染症対策のポイントを市内全介護事業所に説明：全 5 回、延参加者 575 人
- ・インフルエンザ予防啓発ポスターを配布：1,970 箇所（ 市内事業所、高齢者施設、保育園、幼稚園、小学校、中学校等 ）
- ・広報さがみはらに記事を掲載



### (6) 感染症発生動向調査事業

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、感染症の発生の状況、動向及び原因の調査を行い、関係機関に情報の提供を行いました。

- ・全数把握対象疾患：一～四類感染症全て、新型インフルエンザ等感染症、五類感染症のうち24疾患及び指定感染症の計90疾患

- ・定点把握対象疾患（指定医療機関からの届出）：五類感染症のうち25疾患

患者定点：33医療機関、病原体定点：7医療機関、疑似症定点：3医療機関

## 3 性感染症予防対策事業

人権や社会的背景に配慮しつつ、HIV感染症（エイズ）等の性感染症の拡大の抑制と患者が安心して療養生活を送れる環境づくりのために、正しい知識の普及啓発、相談・検査体制及び患者等の支援の充実、性感染症対策を推進するための体制整備に努めました。

### (1) HIV（エイズ）相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月2回土曜日（無料、匿名）のHIV（エイズ）相談・抗体検査を実施しました。

#### ア HIV（エイズ）相談・検査実施状況 (人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談	872	907	919	1,035	920
検査	473	497	491	542	485

#### イ HIV（エイズ）検査（性・年齢別）実施状況（令和元年度） (人)

	計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男	315	9	107	83	57	31	28
女	170	18	83	40	21	7	1
計	485	27	190	123	78	38	29

### (2) 性感染症相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月2回土曜日（無料、匿名、HIV（エイズ）検査と同時実施）の性感染症相談・抗体検査を実施しました。

#### ア クラミジア相談・検査実施状況 (人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談	763	839	857	886	765
検査	393	443	448	468	401

イ クラミジア検査(性・年齢別)実施状況(令和元年度) (人)

	計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男	258	9	91	61	42	28	27
女	143	15	70	33	18	6	1
計	401	24	161	94	60	34	28

ウ 梅毒相談・検査実施状況 (人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
相談	785	836	853	937	821
検査	415	445	454	496	432

エ 梅毒検査(性・年齢別)実施状況(令和元年度) (人)

	計	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上
男	286	9	100	71	51	28	27
女	146	16	72	33	18	6	1
計	432	25	172	104	69	34	28

(3) HIV(エイズ)予防啓発事業

HIV(エイズ)及び性感染症は、正しい知識を持つことや、適切な性行動の選択ができることが予防につながります。そこで、性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にある青少年に対し、市内の中学校や高等学校で講演会を実施しました。

また、世界エイズデーにあわせて、ハイリスク層を対象とした相談・検査を実施しました。

ア 「世界エイズデー」に伴う予防啓発キャンペーン

実施日 令和元年12月1日(日)

会場 ユニコムプラザさがみはら

内容 ハイリスク層を対象とした相談・検査

HIV(エイズ)・梅毒・B型肝炎の即日検査

イ 性感染症予防講演会の開催 新型コロナウイルス感染症まん延防止に伴う休校により、予定していた回数のうち8回中止

対象	回数	人数
中学生	7回	748人
高校生	8回	2,120人

(4) HIV(エイズ)対策の推進に向けた体制整備

市民のニーズに応じたHIV(エイズ)対策を総合的かつ効果的に実施するために、マンパワーの充実とともに、保健医療、福祉、教育、NPO、市民等の協力連携の推進に努めました。

## (5) エイズ対策特別促進事業

性的少数者（以下LGBT）の子どもたちが、LGBTに関する肯定的な情報を得にくい背景から不安や孤立感を持ちやすく、仲間を求める行動から望まない性交渉に発展する現状などを踏まえ、性自認が確立し始める思春期の子どもに多く接する教職員、養護教諭等を対象に、子どもたちに必要な支援を考え、実際の業務に生かすことができることを目的に、講演会を実施しました。

実施日 令和2年2月21日（金）  
会場 ウェルネスさがみはら 7階 視聴覚室  
テーマ 「LGBTの子どもたち 現状と必要な支援」  
講師 特定非営利活動法人 SHIP にじいるキャビン 代表 星野 慎二 氏  
参加者数 46人

## 4 肝炎対策事業

B型・C型肝炎ウイルス感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、無料でB型・C型肝炎ウイルス検査を実施しました。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
検査件数	136	74	86	102	99

平成20年1月から実施

## 5 予防接種事業

### (1) 定期予防接種

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき、定期の予防接種を実施しました。

< 定期予防接種の種類 >

ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ(急性灰白髄炎)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎及び高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症、風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第5期定期予防接種

#### ア 乳幼児等予防接種

乳幼児、小中学生等を対象に、協力医療機関(148箇所)で予防接種を実施しました。また、協力医療機関以外のかかりつけ医療機関等での予防接種に対して、費用の全部または一部を助成しました。

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	計画数	延接種者数	計画数	延接種者数	計画数	延接種者数	計画数	延接種者数	計画数	延接種者数
計	122,832	121,148 (140)	128,644	127,281 (237)	129,932	129,637 (208)	123,947	129,481 (276)	128,629	122,363 (277)
四種混合	20,682	21,975 (34)	21,758	21,700 (54)	20,872	20,590 (38)	19,733	20,513 (51)	20,254	19,480 (49)
三種混合	400	66	75	3	16	0	0	0	0	0
二種混合	10	0	0	4	0	0	0	0	0	0
1期	3,540	3,550 (2)	3,509	3,882	3,528	3,803	3,981	4,387	4,159	4,242
2期	5,660	5,610 (3)	5,400	5,504 (4)	5,239	5,139 (2)	4,773	5,189 (4)	5,521	4,866 (1)
1期	5,810	5,660	5,267	5,565	5,125	5,375 (1)	5,557	5,427 (1)	5,115	5,366 (2)
2期										
3期										
4期										
麻しん	5	1	0	1	0	0	0	1	0	2
風しん	5	1	0	0	0	0	0	2	0	0
日本脳炎	11,800	17,620 (1)	13,707	17,430 (6)	13,768	17,467 (3)	13,841	17,766 (9)	13,602	16,540 (7)
1期	9,540	4,235	8,033	5,564 (1)	7,949	5,774	8,981	5,879	9,706	5,653 (1)
2期	4,880	5,490 (5)	5,400	5,340 (9)	5,234	5,025 (8)	4,773	5,073 (7)	5,219	4,763 (8)
BCG	2,710	1,286	591	707 (3)	779	426	566	154	342	11
不活化ポリオ	60	24	26	12	22	14	9	41	28	87
子宮頸がん予防	21,120	22,009 (45)	20,949	21,253 (62)	20,583	20,309 (54)	19,264	20,091 (69)	19,721	18,591 (72)
ヒブ	21,210	21,974 (45)	20,894	21,340 (60)	20,693	20,372 (54)	19,290	20,186 (69)	19,826	19,143 (74)
小児用肺炎球菌	15,400	11,647 (5)	12,703	10,649 (5)	10,423	9,930 (4)	9,427	9,934 (12)	9,739	9,620 (2)
水痘			10,332	8,327 (33)	15,701	15,413 (44)	13,752	14,838 (54)	15,397	13,999 (61)
B型肝炎										

\* 延接種者数の( )は、助成金制度の実施者数(内数)

\* 延べ接種者数には、区域外接種者を含む

## イ 高齢者予防接種

### < インフルエンザ予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等(328箇所)で高齢者インフルエンザ予防接種を実施しました。

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65歳以上の方	174,388	72,031	178,634	70,866	181,494	73,994	183,527	79,537
60歳以上65歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	338	169	310	157	307	146	307	133
合計	174,726	72,200	178,944	71,023	181,801	74,140	183,834	79,670

< 肺炎球菌感染症予防接種 >

高齢者を対象に、協力医療機関等（270 箇所）で高齢者の肺炎球菌感染症予防接種を実施しました。

区分	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65.70,75,80, 85,90,95,100 歳の方*	39,577	14,095	41,875	14,927	41,555	12,946	27,941	5,722
60 歳以上 65 歳未満 の心臓、じん臓若し くは呼吸器の機能 又はヒト免疫不全 ウイルスによる免 疫の機能に高度の 障害を有する方	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 338	1	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 310	6	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	0	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	2
合計	39,915	14,096	42,185	14,933	41,862	12,946	28,248	5,724

\* 65 歳以上の対象者数は年度の 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口

\* 令和元年度より、過去に接種履歴のある者を除いて対象者数を算出

ウ 風しんの追加的対策にかかる風しん抗体検査並びに風しん第 5 期定期予防接種

昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性を対象に、風しん抗体検査並びに風しん第 5 期定期予防接種を実施しました。

< 対象者数 > 99,151 人

区分	抗体検査実施数	予防接種実施数	合計
令和元年度	6,448	1,473	7,921

( 2 ) 任意予防接種

予防接種法に規定のない任意の予防接種について、次のとおり実施しました。

ア 風しん予防接種促進事業

先天性風しん症候群の発生防止を目的として、協力医療機関（169 機関）で風しん抗体検査及び予防接種を実施し、費用の一部を助成しました。

< 対象者 >

妊娠を予定または希望する女性、妊娠を予定または希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者

区 分	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
抗体検査	260	331	248	310	1,251	1,660	4,431	1,284
予防接種	130	131	135	125	636	610	2,326	893

\* 対象者数は、予算積算で使用したものの。